

都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)
東京都	千代田区	なし					
東京都	中央区	オーストラリア	サザランド (ニューサウスウェールズ州)	1991/7/9 (H3)	在オーストラリア日本大使館から紹介を受けたのを機に、中学生の相互ホームステイ交流が始まった。	(1) 教育交流	<b>中学生海外体験学習事業</b> 区立中学生第2学年24名をサザランド市に派遣。体験入学やホームステイ等の交流活動を行った。
							<b>海外中学生の受け入れ事業</b> サザランド市の中学生12名を受け入れ、区立中学校への体験入学やホームステイ等の交流事業を行った。
							<b>写真の交換</b> 住民らが撮影した各々の区市の写真を相互に交換し、写真展を開催。
東京都	港区	なし					
東京都	新宿区	ギリシア	レフカダ	1989/10/12 (S64)	明治時代の文人小泉八雲ラフガディオ・ハーンがレフカダ生まれ、新宿区で亡くなった縁による。	(1) 教育交流	<b>児童・生徒作品交流</b> レフカダ市児童・生徒による作品50点を受け取り、展覧会を実施。区立保育園等から、作品77点を贈呈。
		ドイツ	ベルリン市ミッテ区	1994/7/6 (H6)	平成2年にベルリン・カイザーヴィルヘルム記念協会パツハ合唱団が来日、新宿区民第九合唱団と共演。区民相互の交流が始まった。	(1) 教育交流	<b>青少年交流事業</b> 平成25年8月18日～30日、新宿区青少年12名を派遣。(受入と派遣を隔年で交互に行う)
		中国	北京市東城区	1995/10/15 (H7)	区首脳相互の交流、老人クラブゲートボールや少年サッカー、卓球などを通して市民レベルでの友好交流を深め提携に至った。	(1) 教育交流	<b>児童・生徒作品交流</b> 東城区児童・生徒による作品56点を受け取り、展覧会を実施。区立保育園等から、作品83点を贈呈。
東京都	文京区	ドイツ	カイザースラウテルン (ラインラント・プファルツ州)	1988/3/28 (S63)	世界平和と国際親善への寄与を目的とする。	(9) その他交流	<b>【25周年】文京区姉妹都市公式訪問団派遣</b> 12名からなる公式訪問団を派遣、区長、議員の外、柔道、合気道の指導者を連れてスポーツ交流も行った。現地のIT関連施設、外務大臣賞を受賞した日本庭園などを視察した。在フランクフルト日本国総領事館において、姉妹都市25周年記念レセプションを開催した。
						(9) その他交流	<b>【復興】</b> 姉妹都市が市民から募った東日本大震災に対する2回目の義援金717,928円を、岩手県釜石市教育振興基金に贈呈
						(2) 文化交流	<b>写真の交換</b> 住民らが撮影した各々の区市の写真を相互に交換し、写真展を開催。
						(1) 教育交流	<b>ホームステイ生徒交換事業(派遣)</b> 2週間、日本から男子2名、女子2名の計4人をカイザースラウテルン市に派遣、現地の同世代の子どものいる家庭にホームステイを行った。
東京都	台東区	オーストラリア	マンリー市	1982/ (S57)	昭和57年4月、マンリー市長と台東区長が日豪国際シンポジウムに出席したことを機に交流がはじまり、締結に至った。	(2) 文化交流	<b>【周年】浮世絵展</b> 台東区とマンリー市の姉妹都市提携30周年記念事業として、オーストラリアの国際交流基金シドニー日本文化センターにて「広重 東海道五拾参次浮世絵展」を開催。マンリー市のほか、観光庁、国際交流基金、日本政府観光局、自治体国際化協会と連携して実施。期間は平成24年7月13日～8月9日まで行った
						(8) 行政交流	<b>【周年】表敬訪問</b> 平成24年5月16日に、台東区の姉妹都市であるマンリー市との姉妹都市提携30周年記念事業として、マンリー市から副市長をはじめ7名の訪問団が来区。区長表敬訪問のほか、区議会議事堂にて記念式典を実施した。
		オーストリア	ウィーン市第1区 イネレシュタット	1989/ (H1)	昭和59年台東区金竜小学校音楽部のウィーン訪問を機縁とし、音楽を始めとする文化交流がスタートしたことから提携に至った。		
		デンマーク	グラスサクセ市 (コペンハーゲン州)	2000/4/17 (H12)	平成3年以来、福祉ボランティア研修や中学生教育使節団の相互訪問など、福祉や教育の分野を中心に交流を重ね、提携に至った。	(1) 教育交流	<b>国際理解重点教育事業</b> 区立中学校の生徒17名及び引率教諭等をグラスサクセ市へ派遣。ホームステイ及び現地スティンゴ校との交流を行った。
						(1) 教育交流	<b>グラスサクセ市中生受け入れ</b> グラスサクセ市スティンゴ校の中学生21名を受け入れ。ホームステイ等を行った。
					(3) スポーツ交流	<b>空手体験</b> デンマークグラスサクセ市からの依頼により、平成24年7月10日に、グラスサクセ市市民4名が台東区空手部の練習に参加した。	

都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)
東京都	墨田区	中国	北京市石景山区	1997/ (H9)	昭和61年以来、友好交流の実績があり、将来に向けて、一層の交流促進を図るため、友好都市提携に至った。	(8) 行政交流	<b>表敬訪問</b> 東京都と北京市が友好都市協定30周年を迎える節目の年に、5月18日～23日の日程で北京市石景山区友好親善訪問団15名が来日し、本区への表敬訪問を行った。石景山区園芸緑化視察団6名が来日し、屋上緑化見本コーナー、緑と花の学習園などの区内施設の視察を行った。
						(2) 文化交流	<b>作品展</b> 石景山区図書館において板橋区、墨田区との合同区民作品展を実施した。
		大韓民国	ソウル特別市西大門区	2003/ (H15)	十数年にわたる区民及び行政間交流の実績を踏まえ、今後の更なる両区の発展に資するため、友好都市協定を締結した。	(3) スポーツ交流	<b>少年サッカーチーム友好試合(派遣)</b> 墨田区の少年サッカーチームが西大門区を訪問し、友好試合を行った。
						(3) スポーツ交流	<b>少年サッカーチーム友好試合(受入)</b> 西大門区の少年サッカーチームが墨田区を訪問し、西大門区の少年サッカーチームと友好試合及びホームステイ交流等を実施
東京都	江東区	カナダ	サレー市	1989/ (H1)	江東区の姉妹都市であるサレー市を区民にPRするため、サレー市の紹介パンフレットを作成、平成20年3月30日発行。		
東京都	品川区	アメリカ合衆国	ポートランド市 (メーン州)	1984/10/13 (S59)	区内の史跡「大森貝塚」の発見者であるエドワード・シルベスター・モース博士の生誕地というつながりから提携	(2) 文化交流	<b>成人夏期語学研修派遣</b> 成人2名を姉妹都市ポートランド市のペノブスコットスクールに派遣した。
						(3) スポーツ交流	<b>青少年スポーツ交流</b> ①平成24年7月に選手団32名(野球13名、バスケ13名、引率6名)を10日間品川区で受け入れ交流試合を行った。(選手はホームステイ) 実施主体：国際友好協会 ②平成24年8月に選手団31名(野球12名、バスケ10名、引率9名)を12日間ポートランド市に派遣し交流試合を行った。(選手はホームステイ) 実施主体：国際友好協会
		スイス	ジュネーヴ市 (ジュネーヴ州)	1991/9/9 (H3)	区内にある「品川寺」の大梵鐘がパリ(1867年)とウィーン(1871年)の両万国博覧会に出品された後、行方不明になり、その梵鐘が市内アリアナ美術館で発見されたことにつながりから提携	(1) 教育交流	<b>青少年ホームステイ派遣及び受入(隔年で交互)</b> 本区の中学・高校生16名を友好都市ジュネーヴ市へ派遣した。 中学生16人と大人(引率者)2名を15日間品川区で受入れ、ホームステイを通して交流する。 実施主体：国際友好協会
		ニュージーランド	オークランド市	1993/5/17 (H5)	同じ島国で、品川区と同じ非核平和宣言をしているニュージーランド・マウントロススキル市(平成元年にオークランド市と合併)との交流が発展し、提携。	(1) 教育交流	<b>青少年夏期語学研修派遣及び受入</b> ①中学2年生～高校生15人、大人(引率者)2名を24日間リンフィールド・カレッジで開講される語学研修に派遣し、語学力および国際感覚を習得する。 実施主体：国際友好協会 ②青少年15名、大人(引率者)2名を13日間品川区で受入れ、ホームステイを通して交流する。 実施主体：国際友好協会
東京都	目黒区	中国	北京市東城区	1991/10/26 (H3)	昭和54年に東京都と北京市が友好都市の提携を結んだことから、都区市町村中華人民共和国訪問団の一員として目黒区長が昭和56年に北京市崇文区を訪問したことを契機に交流が始まり、平成3年に様々な分野で交流と協力をを行う目的で協定を結んだ。	(1) 教育交流	<b>児童・生徒書画作品展</b> 目黒区児童・生徒の書画作品を東城区に送付し、作品展にて展示した。(隔年で相互に展示)
						(1) 教育交流	<b>児童年賀状交換事業</b> 両区の児童が年賀状を作成し、交換した。
東京都	大田区	アメリカ合衆国	セーラム (マサチューセッツ州)	1991/11/18 (H3)	区立郷土博物館とビーボディー博物館が姉妹館提携し、それが発展して提携を結ぶ。	(9) その他交流	<b>市民親善訪問団派遣(及び受入)</b> 公募した区民を平成24年11月7日～14日にセーラム市に派遣。ホームステイや交流会等を通じて相互理解を深めた。派遣23名。
						(1) 教育交流	<b>中学生の派遣</b> 平成24年7月21日～8月8日アメリカ(セーラム市)、平成24年7月21日～8月7日ドイツ(ブレーメン市)へ、区立中学校生徒56名、引率教員8名を2つの団に分けて派遣。現地では、ホームステイプログラムが中心。帰国後、9月22日に成果報告会を実施。
		中国	北京市朝陽区	1998/9/21 (H10)	大田区長が朝陽区を訪問したことに始まり、その後青少年交流を積み重ね締結。	(2) 文化交流	<b>小学生の絵画作品の交換展示</b>
						(9) その他交流	<b>第7回日中青少年友好訪問団派遣</b>

都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)
東京都	世田谷区	カナダ	ウィニペグ (マニトバ州)	1970/10/5 (S45)	昭和35年、ウィニペグ在留日系人と在日カナダ二世協会の呼びかけで児童生徒の絵画交換が行われ、提携に至った。	(1) 教育交流	<b>中学生親善訪問団派遣・受入事業</b> 派遣事業 9月19日～10月5日 中学1～2年生16名、引率4名 受入事業3月1日～16日 中学1～2年生16名、引率5名 学校訪問やホームステイ、表敬訪問等の交流事業
		オーストリア	ウィーン市ドゥプリング区	1985/5/8 (S60)	昭和58年、ドゥプリング区長の来訪がきっかけとなり、文化・芸術を中心とした交流が始まり、提携に至った。	(1) 教育交流	<b>小学生親善訪問団派遣事業</b> 11月2日～9日 小学5年生16名、引率5名 学校訪問や表敬訪問等の交流事業
		オーストラリア	バンバリー (西オーストラリア州)	1992/11/10 (H4)	平成3年、日本語教育に熱心な同市と区内小学校派遣を通して教育交流が実施され、提携に至った。	(1) 教育交流	<b>小学生親善訪問団派遣・受入事業</b> 受入事業 10月2日～12日 小学6～7年生18名、引率3名 派遣事業 11月21日～28日 小学5年生16名、引率4名 学校訪問やホームステイ、表敬訪問等の交流事業
						(3) スポーツ交流	<b>マラソン交流事業</b> 派遣事業 4月10日～17日 3名 バンバリーマラソンへの参加、ホームステイ、表敬訪問等の交流事業 受入事業 11月7日～11日 2名 世田谷246ハーフマラソンへの参加、ホームステイ、表敬訪問等の交流事業
東京都	渋谷区	トルコ	イスタンブール市ウスキュダル区	2005/9/5 (H17)	文化振興・震災対策等における相互協力等の友好交流、さらに友好都市提携に対する熱意があるため	(8) 行政交流	<b>ウスキュダル区訪問</b> トルコ共和国建国90周年、マルマライ開業セレモニーの招待を受け、区長、区議会議長、区議会議員等7名が慶祝の意を表し出席。ウスキュダル区を表敬訪問。
東京都	中野区	中国	北京市西城区	1986/ (S61)	日中友好平和条約の精神に基づき、両国の平和、両国の繁栄と発展に寄与するため、「友好区関係」を締結した。	(2) 文化交流	<b>まつり参加</b> 中野まつりにおいて、北京市西城区区民芸術団による踊りや歌の公演や、伝統手工芸の実演により、中華人民共和国文化に触れる機会を設けた。 ・実施日10月10日(土)
						(9) その他交流	<b>区民調査団派遣</b> 区民調査団13名がソウル特別市陽川区を訪問し、民間交流の具体策を検討するとともに、両区関係者の相互理解と信頼関係の構築を図るために実施。3日間
						(1) 教育交流	<b>小学校交流</b> 中野区立鷺宮小学校と友好校である北京市西城区西単小学校の訪問団の来校に際し、協会職員と日本語講座学習者を通訳などのスタッフとして派遣し、受入れ態勢の円滑を図った。 ・来校日5月14日(木) ・訪日来訪団43人 ・派遣スタッフ7名
						(3) スポーツ交流	<b>青少年文化・スポーツ交流</b> 中野区軟式野球連盟、中野区少年野球連盟と共催で、北京市西城区へ少年野球チームを結成し、小学生16人を派遣。親善試合を3試合行ったほか、西城区少年宮などの施設を見学し、中国の歴史文化を学んだ。 訪問期間 8月10日～15日(5泊6日)
	中野区	大韓民国	ソウル特別市陽川区	2010/ (H22)	共に学びあい、力を合わせて両区の実発展と両区民の福祉の増進を図るとともに、日韓両国の友好親善と交流に貢献することを基本理念として「姉妹都市関係」を締結した。		
東京都	杉並区	オーストラリア	ウィロビー市	1990/ (H2)	世界に開かれた地域社会づくりと地域の活性化を図るために締結。		
		大韓民国	ソウル特別市瑞草区	1991/ (H3)	世界に開かれた地域社会づくりと地域の活性化を図るために締結。		
東京都	豊島区	大韓民国	ソウル特別市東大門区	2002/5/9 (H14)	昭和57年、両区の親善協会同士が姉妹提携したことから交流が始まった。平成14年2月に東大門区庁長が本区を訪問、その時に、東大門区から友好都市協定の締結が提案された。	(8) 行政交流	<b>友好都市職員受け入れ事業</b> 受け入れ期間：4月1日～10月31日
						(3) スポーツ交流	<b>親善少年野球大会</b> 例年8月に実施。豊島区少年野球連盟理事長、オール豊島野球団が、大韓民国・ソウル特別市東大門区を訪問し、少年野球大会を開催。

都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)		
東京都	北区	中国	北京市宣武区	1993/ (H5)	北京市宣武区と北区との交流は、昭和60年の北京第一実験小学校と北区立王子小学校との交流を契機に開始され、平成5年に北京市宣武区長と北区長との交流により締結。				
東京都	荒川区	オーストリア	ウィーン市 ドナウシュタット区	1996/ (H8)	平成4年以来、児童・生徒絵画展の相互開催や日本語を学んでいる高校生のホームステイによる受入れなどを契機に友好都市提携を行った。高校生の相互派遣等を通じて交流を行っている。	(1) 教育交流	<b>高校生派遣及び受入</b> ①区内在住の高校生7名を友好都市ウィーン市ドナウシュタット区に派遣。区庁舎表敬訪問やホームステイを通して友好関係を深めるとともに、国際的視野を持った人物の育成を図る。 ②友好都市ウィーン市ドナウシュタット区の高中生7名が区を訪問。区内一般家庭にホームステイし、都区内施設見学、歓迎会等で交流を深めた。		
		大韓民国	済州市	2005/ (H17)	荒川区に済州市出身者が多いことから、区議や区民有志が済州市を訪問したことを契機に交流を開始。荒川区長が済州市訪問時に済州市長と産業や観光など広範な分野にわたる交流を相互に目的とする友好都市提携に関するトップ協議を行い、済州市長の荒川区訪問の際に締結。	(9) その他交流	<b>高齢者クラブ訪問</b> 大韓民国済州市老人会会長を代表とする一行が、荒川区高齢者クラブとの友好提携協定の答礼のため来区し、荒川区高齢者クラブ連合会を訪問した。区長への表敬訪問をはじめ、荒川区高齢者クラブ連合会と高齢者施策について、意見交換を行った。		
		中国	大連市中山区	2005/ (H17)	荒川区長・議長等の代表団が大連市中山区を視察したことを契機に、産業面での交流を中心とした友好都市提携を結んだ。	(1) 教育交流	日暮里織維街と荒川区が共催する日暮里ファッションショーに、大連市中山区代表団と大連市モデル芸術学校のモデルを招き、ファッションショーに参加をするなど産業面での交流を深めた。		
東京都	板橋区	カナダ	バーリントン市 (オンタリオ州)	1989/5/12 (H1)	昭和61年10月の区民まつりで、カナダ大使館のバックアップによりカナダフェアを開催したことを機に、日本との姉妹都市交流を希望しているバーリントン市の情報が入った。両市で意見交換を行った結果「国際平和の実現」に積極的であることが合致し、提携を合意した。	(1) 教育交流	<b>フローレンス・メアレス小学校と、区立小学校間で生徒の作品交流</b> 実施主体：(公財)板橋区文化・国際交流財団		
						(2) 文化交流	<b>バーリントン市写真サークル「LATOW」と、私立城北中・高等学校写真部、東京家政大学写真部間で写真交流</b> 実施主体：(公財)板橋区文化・国際交流財団		
		中国	北京市石景山区	1997/10/8 (H9)	身近なアジアの国であり区内在住外国人数が最も多い中華人民共和国との都市交流を検討していた板橋区は、北京市から石景山区について推薦・紹介を受けた。相互の訪問と交流を経て、日中華人民共和国交25周年を機に友好協力関係に関する合意書に調印した。	(1) 教育交流 (2) 文化交流	<b>北京師範大学励耘実験学校より北京市青少年キャラバンが区立中学校を訪問、バレーボールで交流</b> 北京市青少年キャラバン…石景山区中学生36名 <b>国際交流まつりにおいて、2013年に石景山区で開催された「千年北京城 雲秀石景山」撮影作品展の入選作品を展示</b> 実施主体：(公財)板橋区文化・国際交流財団		
東京都	練馬区	中国	北京市海淀区	1992/ (H4)	スポーツ・文化・産業等幅広い交流を続けている。	(1) 教育交流	<b>練馬区立中学生海外派遣事業</b> (生徒68名、引率14名) 中学生がイブスウィッチ市でホームステイ、学校生活等を体験		
				オーストラリア	イブスウィッチ市 (クィーンズランド州)	1994/10/15 (H6)		(1) 教育交流	<b>練馬区立中学生海外派遣事業</b> (生徒68名、引率14名) 中学生がイブスウィッチ市でホームステイ、学校生活等を体験
				オーストラリア	ベルモント市 (西オーストラリア州)	1984/10/1 (S59)	英語版「ADACHI」を各国大使館に配付したところベルモント市から姉妹都市提携の打診があった。その後、姉妹都市提携及び10項目の交流計画に合意し、中学生の相互ホームステイ交流等が始まった。平成21年、姉妹都市提携25周年を迎え、区民、市民使節団の相互訪問を実施した。	(1) 教育交流 (8) 行政交流	<b>ベルモント市市民交流体験ツアー</b> 足立区観光交流協会会員の姉妹都市派遣事業 主に足立区の学生がホームステイをして、異文化体験・交流の推進を行う。(中学生15名、高校生1名参加) <b>【周年】姉妹都市提携30周年記念 ベルモント市使節団受入事業</b> 記念式典、日本の生活・文化体験を通じ交流を推進する。(ベルモント市民24名参加)

都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)
東京都	葛飾区	オーストラリア	ウィーン市フロリズドリフ区	1987/11/2 (S62)	ウィーン市長が来日の折、機内で上映されていた松竹映画の「男はつらいよ」シリーズを機内で鑑賞し、映画に描かれた人物の様子がウィーン市民の気質に似ているということから交流が始まった。	(9) その他交流	<b>青少年派遣及び受入</b> 2013年(平成25年)7月24日～8月7日 ホームステイにより青少年5人を派遣 別な年には、9月12日から19日まで10人の青年を受入れ、ホームステイを通じて両都市の友好交流を深めた。
		中国	北京市豊台区	1992/11/12 (H4)	昭和60年10月、・飾区議会日中友好議員連盟第一次訪中団が豊台区を訪問して、友好交流の端緒が開かれた。 以降、友好訪問団の相互訪問や・飾区からの区民訪問団、スポーツ交流、青少年交流事業を積み重ね、平成4年11月12日北京市豊台区において、「友好交流・協力に関する協定書」に調印し、正式な友好区提携を樹立した。	(1) 教育交流	<b>豊台区青少年友好訪問団来訪</b> 2014年(平成26年)1月19日～23日 北京市趙登禹学校中学位の生徒で構成された豊台区青少年友好訪問団20名が来訪。立石中学校において音楽交流を行ったほか、国語・数学などの授業を体験、教育長への表敬訪問、区内見学を行った。
東京都	江戸川区	オーストラリア	ゴスフォード (ニューサウスウェールズ州)	1988/4/19 (S63)	オーストラリア建国200年の記念事業としてゴスフォード市から姉妹都市を締結しタイ王国との申し出があった。その後、区長と市長間の意見交換が頻繁に行われ、姉妹都市提携の気運が高まり、両年の永遠の発展と協力を誓って盟約を取り交わした。	(1) 教育交流	<b>青少年の海外派遣事業</b> 中・高校生を派遣し、現地での学校体験やホームステイ等を通して、多くの市民と交流した。
						(1) 教育交流	<b>交換留学生の訪問</b> 関東第一高等学校生徒が姉妹校のセントラルコースト・グラマースクールへ短期交換留学をし
						(1) 教育交流	<b>交換留学生の来訪</b> セントラルコースト・グラマースクール生徒が姉妹校の関東第一高等学校へ短期交換留学をし
						(2) 文化交流	<b>【周年】オーストラリア夏季バレエ講習会への参加</b> 区内バレエ団体がゴスフォード市のセントラル・ダンス・カンパニー主催の『姉妹都市盟約25周年記念公演』に参加するため訪豪し、舞台芸術を通してオーストラリアの文化を体感した。 滞在中はゴスフォード市長の表敬訪問に加え、ダンサー宅にホームステイするなどし、交流を
						(8) 行政交流	<b>【周年】区長一行ゴスフォード市訪問</b> 姉妹都市ゴスフォード市からの招聘を受けて、区長と区議会代表が姉妹都市盟約25周年祝賀行事出席のためゴスフォード市を訪問した。市内視察を通して姉妹都市の理解を深めた。
						(9) その他交流	<b>【周年】江戸川ホームステイクラブの訪問</b> ゴスフォード市姉妹都市協会からの招聘を受けて、姉妹都市盟約25周年祝賀行事出席の時期に合わせゴスフォード市を訪問した。市内視察を通して姉妹都市の理解を深めた。
						(9) その他交流	<b>前SOAP(環太平洋協会)セントラルコースト支部理事長の来訪</b> 区内見学や文化体験を通して区民と交流を深めた。
						(8) 行政交流	<b>ゴスフォード市副市長の来訪</b> 区長表敬訪問や区内視察を行うなどし、姉妹都市としての理解を深め、友好親善を図った。
						(9) その他交流	<b>ゴスフォード市市民交流訪問団の来訪</b> 姉妹都市協会会長ほか来訪し、区長表敬訪問や区内視察を行うなどし、姉妹都市としての理解を深め、友好親善を図った。
(8) 行政交流	<b>ゴスフォード市職員研修生の来訪</b> ゴスフォード市職員2名が来訪し、区長表敬訪問や区内視察を行うなどした。						

都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)
東京都	八王子市	中国	泰安市 (山東省)	2006/9/23 (H18)	泰安市からの提案を受け、市制90周年を機に締結。	(1) 教育交流	<b>海外友好交流都市との読書感想画展</b> 1月28日～2月1日 八王子市学園都市センターギャラリーホール 434名 友好交流都市3都市と市内小学生に世界的なベストセラーと呼ばれる本を読んで、その感想等を絵で表現し、感性の違いなどから異文化理解を図る。
						(2) 文化交流	<b>台湾高雄写真展</b> 6月1日～14日 八王子駅南口総合事務所 来場者3,788名
						(8) 行政交流	<b>八王子まつりにおける高雄市政府団受入</b> 8月2日～4日 17名
		台湾	高雄市	2006/11/1 (H18)	高雄市からの提案を受け、市制90周年を機に締結。	(2) 文化交流	<b>八王子まつりにおけるパフォーマンス団受入</b> 8月2日～5日 18名 台南大学
						(8) 行政交流	<b>2013アジア太平洋都市サミット(高雄市)への派遣</b> 9月8日～9日 3名(市長ほか)
						(2) 文化交流	<b>八王子テレメディアの高雄市歴史博物館訪問の支援</b> 9月11日
						(1) 教育交流	<b>高雄市高級中学校の八王子東高校訪問の支援</b> 12月17日
						(1) 教育交流	<b>市立看護学校修学旅行における高雄市訪問の支援</b> 12月19日～22日
						(1) 教育交流	<b>海外友好交流都市との読書感想画展</b> 1月28日～2月1日 八王子市学園都市センターギャラリーホール 434名 友好交流都市3都市と市内小学生に世界的なベストセラーと呼ばれる本を読んで、その感想等を絵で表現し、感性の違いなどから異文化理解を図る。
						(8) 行政交流	<b>高雄ランタンフェスティバルへの派遣</b> 2月13日～16日 3名(市長ほか)
						(2) 文化交流	<b>高雄ランタンフェスティバルにおけるパフォーマンス団派遣</b> 2月13日～16日 16名 拓殖大学国際ボランティア愛好会(よさこい)
						(3) スポーツ交流	<b>高雄国際マラソン市民団参加の支援</b> 2月14日～17日 9名 八王子陸上競技クラブ連絡会
						(1) 教育交流	<b>八王子東高校の高雄市高級中学校訪問の支援</b> 3月23日～25日
						(1) 教育交流	<b>読書感想文コンクール表彰者の高雄市訪問の支援</b> 3月27日～29日 八王子西ロータリークラブ
						(1) 教育交流	<b>ボーイスカウト市民団の高雄市訪問の支援</b> 3月28日～31日 18名 ボーイスカウト八王子第1団
大韓民国	始興市 (京畿道)	2006/11/7 (H18)	始興市からの提案を受け、市制90周年を機に締結。	(1) 教育交流	<b>蓮の花フェスティバル絵画募集</b> 始興市の花である蓮の花の絵画を2014年の始興市の蓮の花フェスティバルで展示するため、市内の小学生から募集。		
				(8) 行政交流	<b>八王子市議会訪問団を始興市議会に派遣</b> 11月6日～8日 12名		
				(1) 教育交流	<b>海外友好交流都市との読書感想画展</b> 1月28日～2月1日 八王子市学園都市センターギャラリーホール 434名 友好交流都市3都市と市内小学生に世界的なベストセラーと呼ばれる本を読んで、その感想等を絵で表現し、感性の違いなどから異文化理解を図る。		
東京都	立川市	アメリカ合衆国	サンバーナディノ市 (カリフォルニア州)	1959/12/23 (S34)	提携当時、立川市には米軍立川基地、サンバーナディノ市にはノートン空軍基地があり、日系アメリカ人が多いこと、また、両市の人口規模等も類似していることから提携。	(1) 教育交流	<b>派遣高校生交換補助事業</b> 高校生を相互に一月間派遣し、ホームステイ先で交流する。その間、市長等への表敬訪問や市内見学、日本人または外国人との交流事業を実施。

都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)
東京都	武蔵野市 (※友好都市提携はしていないが、長年交流を続けている事例)	アメリカ合衆国	ラボック市 (テキサス州)		友好交流はしているが、友好都市提携はしていない。1986年から、中学生をジュニア大使(現武蔵野市ジュニア交流団)として派遣し、ホームステイを中心に交流が始まる。その後、ラボック市の中学生も毎年受入れ。相互交流協定あり。 実施主体：環境生活部交流事業課	(1) 教育交流	<b>ラボック市ジュニア大使招聘事業</b> アメリカ合衆国テキサス州ラボック市から同市の中学生16名、引率者4名が来訪し、都内見学、日本文化体験、ホームステイなどを行った。 実施主体：環境生活部 交流事業課
		大韓民国	忠州市		友好交流はしているが、友好都市提携はしていない。大韓民国のテレビで武蔵野市が紹介されたことをきっかけに、大韓民国自治体の視察来訪が相次ぎ、交流要請の強かった江東区と忠州市と1997年に職員相互派遣協定を結び、職員派遣研修を開始。青少年を中心とする市民団の派遣と受入れを実施。 実施主体：環境生活部交流事業課	(1) 教育交流	<b>忠州市青少年交流団受入事業(派遣及び受入)</b> 市内在住、在学の中高校生8名、引率者3名を4日間の日程で派遣し、伝統文化体験、歴史文化探訪、ホームステイなどを通じて、友好親善関係を深めた。 実施主体：環境生活部 交流事業課
		大韓民国	江東区		友好交流はしているが、友好都市提携はしていない。大韓民国のテレビで武蔵野市が紹介されたことをきっかけに、大韓民国自治体の視察来訪が相次ぎ、交流要請の強かった江東区と忠州市と1997年に職員相互派遣協定を結び、職員派遣研修を開始。青少年を中心とする市民団の派遣と受入れを実施。 実施主体：環境生活部交流事業課		
		ルーマニア	ブラショフ市 (ブラショフ県)		友好交流はしているが、友好都市提携はしていない。1992年にブラショフ市を本拠地として活動している交響楽団を招聘したことがきっかけで市民参加の交流が始まる。1998年日本武蔵野交流センター開設、2003年移転して日本武蔵野センターと改称。日本語教室や日本文化紹介等を実施。センター設置協定あり。 実施主体：環境生活部交流事業課	(1) 教育交流	ルーマニア青年交流団受入れ事業
		ロシア	ハバロフスク市		友好交流はしているが、友好都市提携はしていない。武蔵野市の野鳥教室とハバロフスク市の野鳥観察グループの文通がきっかけとなって1991年に武蔵野市野鳥交流視察団が派遣された。 1992年に青少年相互派遣協定を結び、2002年に森林保護・経済活性化のための講座開設協定を結んだ。 実施主体：こども家庭部児童青少年課	(1) 教育交流	<b>ハバロフスク市青少年交流事業(派遣及び受入)</b> ロシア連邦ハバロフスク市に武蔵野市より中学生20名、引率者3名、通訳1名を派遣し、キャンプなどの野外活動を行った。実施主体：子ども家庭部 児童青少年課
東京都	三鷹市	なし					
東京都	青梅市	ドイツ	ポツバルト市 (ラインラント・プファルツ州)	1965/9/24 (\$40)	「青少年に夢を」を合言葉に、当時姉妹都市提携を望んでいた。地理的条件、歴史的背景等を考慮し、市内在住の企業家を通じ、ドイツ連邦共和国のライン川周辺に姉妹都市を探し求め、双方の合意に至った。	(1) 教育交流	<b>第15回ポツバルト市青少年友好親善使節団受入</b> ポツバルト市から10名の青少年友好親善使節団を受入。青梅市内にホームステイをしながら、市内にある高校の授業や和太鼓部の見学や藍染め、だるまの絵付け体験を行い日本文化を体験したほか、多摩川でカヌーに乗り、市民とスポーツを通じ交流を行った。
						(3) スポーツ交流	<b>ミッテルラインマラソン青梅市選手団派遣</b> 本市から5名の選手団を派遣し、ポツバルト市を中心に開催されるミッテルラインマラソンに参加し、スポーツを通じ市民と交流を図った。
						(3) スポーツ交流	<b>青梅マラソン大会ミッテルラインマラソン派遣選手団受入</b> ミッテルラインマラソンから6名の選手を受入した。第48回青梅マラソン大会は大雪のため中止となったが、青梅市民と交流したほか、東京マラソンの前日に行われるフレンドシップランに参加した。

都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)
東京都	府中市	オーストリア	ウィーン市ヘルナルス	1992/ (H4)	<p>検討委員会(委員16名、市民団体、専門家等)で友好都市の選定の5つの基準(①歴史②芸術・文化③近代的な都市づくり④共通点があること⑤交流実績)を基に、ゼロベースで選定をすすめていた。(※当初、候補の中にはウィーンは入っていなかった。)</p> <p>↓検討の最中に</p> <p>①日欧修好120周年で府中市のジュニアアンサンブルがウィーンへ行った。</p> <p>②文化ホールが「ウィーンホール」となった。</p> <p>③当時のウィーン市長の口添え</p> <p>↓</p> <p>ウィーン選定の気運が急上昇し、友好都市として決定する。</p>	(1) 教育交流	<p><b>高校生相互派遣</b></p> <p>①府中→ウィーン 毎年6名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己負担20万円(※その他費用は、NPO府中国際友好交流会が負担)</li> <li>・2月に募集し、書類・面接選考(市とNPO府中国際友好交流会)</li> <li>・市の職員1名も随行</li> <li>・宿泊はホームステイ</li> </ul> <p>②ウィーン→府中 数年おきに6名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊はホームステイ</li> </ul>
						(1) 教育交流	<p><b>作品交流</b></p> <p>特定の小学校同士及びウィーンの高등학교と府中の中学校が施設提携をしており、児童・生徒の作品の交流展示を行っている。(※毎年ではない)</p>
						(9) その他交流	<p><b>施設交流</b></p> <p>①図書館：ウィーンコーナーがあり、ウィーンから贈られた本や、ウィーンの情報展示。</p> <p>②生涯学習センター：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設も兼ねており、ウィーンからのお客が泊まったりする。</li> <li>・ウィーンの子供学校の写真サークルの作品と東京農工大学の写真サークルの作品を交換してお互いに展示する。(交流写真展)</li> </ul>
東京都	昭島市	なし					
東京都	調布市	なし					
東京都	町田市	なし					
東京都	小金井市	なし					
東京都	小平市	なし					
東京都	日野市	アメリカ合衆国	レッドランズ (カリフォルニア州)	1963/7/15 (S38)	<p>レッドランズ市に隣接するサンバナディエーノ市と姉妹都市提携を結んでいた立川市が、レッドランズ市がオレンジの産地で、梨の産地である日野と環境が似ていることから姉妹都市提携を薦めたのがきっかけとなった。</p>	(1) 教育交流	<p><b>【周年】2013日野市施行50周年/日野・レッドランズ姉妹都市提携50周年記念「レッドランズの印象 写真展」開催</b></p> <p>レッドランズ市から訪問団が来日された。</p>
						(1) 教育交流	<p><b>高校生の相互派遣事業</b></p> <p>アメリカ合衆国合衆国カリフォルニア州レッドランズ市在住の高校生8人と付添人3人が訪れ、ホームステイ等を通じて相互の文化・経済面での相違を体験した。(平成22年3月)</p>
東京都	東村山市	アメリカ合衆国	インディペンデンス (ミズーリ州)	1978/1/26 (S53)	平和都市宣言の具体化策の一つとして姉妹都市構想を持ち上がり、市民の紹介によって提携した。	(9) その他交流	<p><b>【周年】姉妹都市提携35周年記念事業</b></p> <p>5月にインディペンデンス市へ当市親善訪問団を派遣し、10月にインディペンデンス市から親善訪問団を受入れ、ホームステイした。親善、友好を深めた。</p>
		中国	蘇州市 (江蘇省)	2004/11/13 (H16)	昭和61年「語学研修交流訪中団」以降、主に教育分野で交流。日本語講師派遣、交易会参加、ゲートボール親善試合交流を重ね、友好交流の意向書を交換。友好交流都市を締結。	(7) 経済交流 (商業等)	<p><b>親善訪問団受入</b></p> <p>11月に蘇州市から親善訪問団を受入(成人6名)。市民産業まつりの視察及び親善交流等を行った。</p>
東京都	国分寺市	オーストラリア	マリオン (南オーストラリア州)	1993/4/2 (H5)	候補都市9市を訪問・調査し、ふさわしい都市を選定し、相手都市の意向を確認した後、提携した。	(8) 行政交流	<p><b>【周年】マリオン市より、市長および市民4名が来市</b></p> <p>4月に姉妹都市マリオン市より、市長および市民4名が来市。記念祝賀会のほか、国分寺市立ひかりプラザにおいて「マリオン市長とのトークセッション」を行い、両市の紹介や、今後の交流の在り方について、参加者も含めて意見交換を行った。</p>
						(8) 行政交流	<p><b>海外手紙交流プロジェクト</b></p> <p>市内中学校(2校)生徒と姉妹都市であるオーストラリア・マリオン市の学校(2校)の生徒との手紙の交換を実施。実施主体：国分寺市国際協会</p>
東京都	国立市	なし					



都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)
東京都	福生市	なし					
東京都	狛江市	なし					
東京都	東大和市	なし					
東京都	清瀬市	なし					
東京都	東久留米市	なし					
東京都	武蔵村山市	なし					
東京都	多摩市	なし					
東京都	稲城市	なし					
東京都	羽村市	なし					
東京都	あきる野市	アメリカ合衆国	マールボロウ市 (マサチューセッツ州)	1998/11/3 (H10)	平成5年10月に友好訪問団がマールボロウ市を訪問し、姉妹都市提携に向けての各種交流の実施について合意した。 その後、中学生海外派遣事業を中心に交流を深め、平成10年11月に姉妹都市提携を結んだ。 双方の市には、大都市から40~50 km圏に位置し、ハイテク関連産業が立地する自然豊かなまちであるという共通点がある。	(1) 教育交流 (1) 教育交流 (1) 教育交流	<b>あきる野市中学生海外派遣事業</b> 市立中学校生徒8人及び引率者1人、随行者1人をマールボロウ市へ約2週間派遣した。また、協力団体であるあきる野ホストファミリークラブから通訳者として1人、あきる野市国際化推進青年の会から同行者として1人が参画した。 <b>ミドルスクール生徒受入事業</b> 10月12日から23日までの間、米国マサチューセッツ州マールボロウ市からミドルスクール生徒8名をホームステイにより受入れ、中学校での学習や交流事業などを通して友好関係を深めるとともに、国際的視野を持つ人材の育成を図った。 <b>マールボロウ市友好訪問団受入事業</b> マールボロウ市ウィットコムスクールの生徒12人及び引率者4名が来日し、その受け入れを実施した。
東京都	西東京市	なし					
東京都	瑞穂町	アメリカ合衆国	モーガンヒル市 (カリフォルニア州)	2006/7/3 (H18)	瑞穂町と人口規模が同規模であり、住民との協働やNPO活動が進んだ自治体であるため。	(1) 教育交流 (2) 文化交流 (2) 文化交流 (2) 文化交流	<b>青少年国際交流事業</b> 瑞穂町の中学生8名を姉妹都市モーガンヒル市へ派遣、ホームステイ、現地の中学校の授業体験、現地住民との交流事業を行った。 <b>テイスト・オブ・モーガンヒル キルト展</b> 9月にモーガンヒル市で開催されるキルト展へ瑞穂町のサークルの作品を出品した。 <b>モーガンヒル キルト展</b> モーガンヒル市のキルトサークルから作品を借り受け、町施設で作品展を行った。 <b>モーガンヒル・春まつり</b> 瑞穂町の和太鼓グループ有志14名が4月にモーガンヒル市で開催されるモーガンヒル・春まつりでの太鼓グループの演奏会へ参加し、交流を行った。
東京都	奥多摩町	中国	浙江省淳安县	1998/ (H10)	奥多摩町と中華人民共和国淳安县は、共に美しい湖を有し、素晴らしい自然環境に恵まれた地域であり、共通点もあることから平成5年に調査訪問を行い現在に至る。		
東京都	大島町	アメリカ合衆国	ヒロ市 (ハワイ島)	1961/ (S36)	火山島として、産業・経済・文化交流し、友好を深める。		
東京都	八丈町	アメリカ合衆国	マウイ郡	1964/ (S39)	島の成り立ちや気候、風土などが似ているところから提携の気運が高まった。	(3) スポーツ交流	<b>パブリックロードレースマウイ選手招致</b> 事業毎年1月開催の八丈島パブリックロードレースにマウイ郡の選手を招致(交通費の一部、参加料の補助、宿泊先の手配)(平成24年度は実績なし)

都道府県名	自治体の名称	海外の国および地域名、および州・省・県等の名称	提携先の自治体名 (地域名、および州・省・県等の名称)	提携年月日	きっかけ	事業分類	事業内容(例)
長野県	野沢温泉村	オーストリア	サントクト・アントン (チロル州)	1971/2/7 (S46)	ハンネス・シュナイダー氏が1930年3月に来日し、野沢温泉スキー場でアールベルグスキー術を講習した際に命名したシュナイダーコースなどの由縁から始まりました。その後、スキーを通じての姉妹村を提携したいという願いが叶い、1971年2月7日日影ゲレンデで姉妹提携を締結しました。	(1) 教育交流	<b>野沢温泉中学校とサントクト・アントン中学校の親善交流訪問(派遣及び受入)</b> 中学生の希望者5～6人をサントクト・アントンに派遣。1週間程度。現地でホームステイなどをする。村からの補助は国内交通費のみ。 (※隔年で交互に派遣と受入をしている。)
						(9) その他交流	<b>職員研修派遣</b> 株式会社野沢温泉(スキー場の指定管理者)の職員3名と村職員1名を、サントクト・アントン市へ1週間～10日間、研修派遣。(毎年実施)
福岡県	飯塚市	アメリカ合衆国	サニーベール (カリフォルニア州)	2013/12 (H25)	H25.5) 日本国外務省の通達により、サニーベール市が日本の自治体と青少年交流を通じた将来世代の育成を主目的とする姉妹都市交流を希望しているとの情報を得る。 H25.9) 飯塚市長からサニーベール市長あてに親書を送付し、交流の意思表示を行う。 H25.12) サニーベール市側の民間団体と飯塚市内の英語教育や国際交流を推進している方々との交流が活発化し、学校間交流の実現性が高まったことから、友好交流関係協定書締結を行う。	(1) 教育交流	<b>学校間交流</b> サニーベール市のサニーベールミドルスクールと飯塚市の伊岐須小学校及び二瀬中学校が、カードや手紙による交流等を実施。6月には、サニーベール姉妹都市協会(SSCA)と飯塚友情ネットワークの協力のもと、サニーベール市の子どもたちが飯塚市にホームステイし、伊岐須小学校や二瀬中学校を訪問し、授業に参加したり給食と一緒に食べたり、様々な交流が行われた。
						(1) 教育交流	<b>中学生海外研修事業</b> 市内在住の中学生20名が夏休みにサニーベール市を訪問し、ホームステイやミドルスクールの授業に参加するなど、同世代の人たちとの交流をはじめ、様々な研修活動が行われました。
						(8) 行政交流	<b>市旗及びパネルの紹介</b> サニーベール市長より飯塚市へ市旗が贈呈。市旗は友好都市サニーベール市を紹介するパネルとともに、飯塚市役所本庁舎内正面玄関前階段踊り場に掲示。
大阪府	豊中市	アメリカ合衆国	サンマテオ (カリフォルニア州)	1963/10/8 (S38)	サンマテオ市の高校生が交換留学生として日本を訪問した際に、豊中市に「住宅が続く街並み」や「近くに空港がある」等、サンマテオ市との共通点を感じ、帰国後に市議会議員であった父親にそのことを話す。サンマテオ市がちょうど、海外との市民交流先を探していたことから、姉妹都市提携を結ぶことが決定。	(2) 文化交流	<b>【周年】姉妹都市提携50周年記念事業</b> 行政・議会関係者と姉妹都市協会が募集した市民訪問団がサンマテオ市を訪問し、提携50周年記念合同会議や祝賀会に参加した。
						(2) 文化交流	<b>サンマテオ市学生使節の受入れ</b> サンマテオ市からの学生使節を受け入れ、ホームステイ体験や学校訪問などの交流事業を実施
						(2) 文化交流	<b>高校生親善使節派遣の支援</b> 姉妹都市協会による高校生親善使節のサンマテオ市派遣への補助金拠出